

新人紹介

はじめまして、本年10月からワイルドライフマネジメント事業部関東支社に配属になりました大森英明と申します。この場を借りて自己紹介させていただきます。

私は妻と娘（3歳）、柴犬（13歳）と八王子で暮らしています。

趣味は旅行、料理、サッカー観戦に加え、コーヒーは趣味の域を超えて自家焙煎しており、つい先日までECサイトやイベントで販売していました。

生まれは宮城県仙台市ですが、生まれて間もなく親の仕事の関係でアメリカへ転勤その後は香港とシンガポールに滞在していました。

動物にはっきりと興味関心を抱いたきっかけはシンガポール動物園の存在でした。シンガポール動物園は檻を極力使わず、動物の習性を活かした展示手法をとっている動物園で、頭上の木から木へ移動するチンパンジーやオラウータン、水浴びをするトラなどを見て心を躍らせていました。そのころに「いろいろな動物に関わる仕事をしたい」と考え、獣医師になるという選択肢を志すようになりました。



今も変わらずコーヒーの焙煎は続けています

その後北里大学の獣医学部に入学、青森という自然豊かな地でのキャンパスライフを満喫する中、就職先については決めきれずにいました。獣医を志したばかりのころにぼんやりと思っていた「いろいろな動物に関わる獣医師になりたい」という願望は変わらず持っていました。獣医学部のキャンパス見学や職場見学、大学の教授との会話などから「野生動物に関わる獣医師の仕事は（ほぼ）ない」という印象を持っていたので、自然と選択肢から外していました。そこでいろいろな動物を診ることができる獣医師になろうと思い、犬猫に加えエキゾチックアニマルの診療もできる小動物病院に入社しました。小動物獣医師時代は犬猫の他、ウサギ、カメ、ハリネズミ、フクロモモンガ、オカメインコなどの診察を行っていました。

小動物病院で基本的な診療について学んだ後、千葉県職員として、食肉衛生検査所や保健所に勤務しました。食肉衛生検査所では牛や豚などの食肉検査の他、野生鳥獣肉処理施設の衛生的な枝肉処理についての指導業務があり、そこで野生鳥獣とのかかわりを持つようになりました。猟師の方や野生鳥獣肉処理施設のスタッフ、地域住民の方々との交流を通じて、里山問題をはじめとした社会と野生動物との関わりについての課題意識強く持つようになりました。

その後の千葉県職員の業務は充実していましたが、「1つのプロジェクトにしっかり関わってみたい」想いから医療機器の開発業務の仕事へと転職しました。そこで多くのことを学びましたが、その一方で今後の自分の生き方についてしっかり棚卸する必要性を感じるようになりました。改めて「自分が何をしたいのか?」、獣医師を志した原点や、キャリアを通じた関心ごとに振り返りながら棚卸した結果、「野生動

物と社会との関わり」というキーワードに当てはまる仕事をしようという考えに行きつきました。

そうは言っても野生動物に関わる仕事はないと思っていた中で、偶然自宅からも近く、求人も募集しているWMOの存在を知りました。これはチャンスだと意を決してエントリーし、今に至ります。

入社後、WMOのスタッフの方には優しく丁寧に対応していただきながら日々を過ごしております。自然と動物との関わりについての考え方や意識の高さに刺激を受ける日々です。まだわからないことばかりでご迷惑をおかけしておりますが、着実に一歩ずつしっかり進んでいきたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。



フクロモモンガへの投薬シーン。

咬まれると痛い。